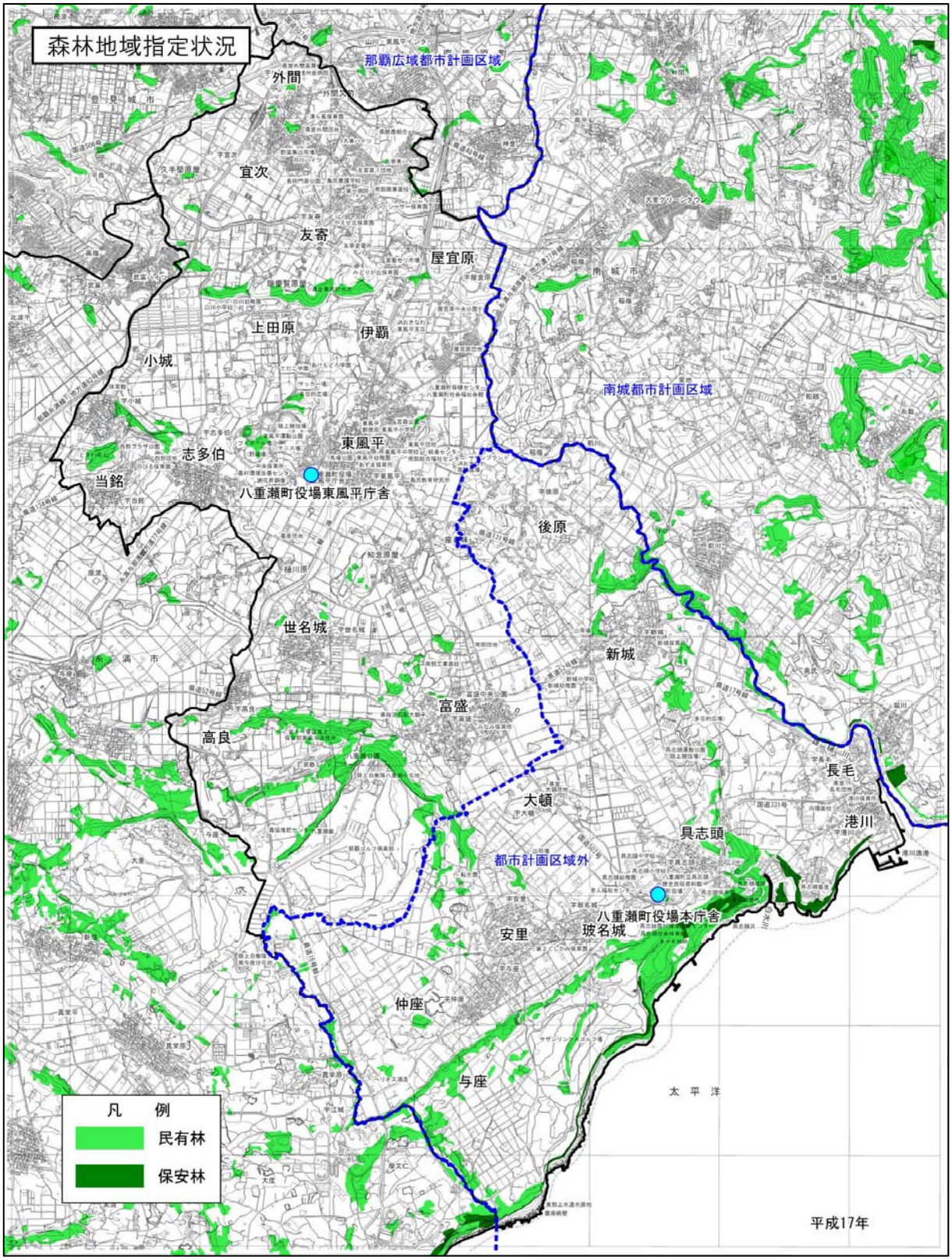
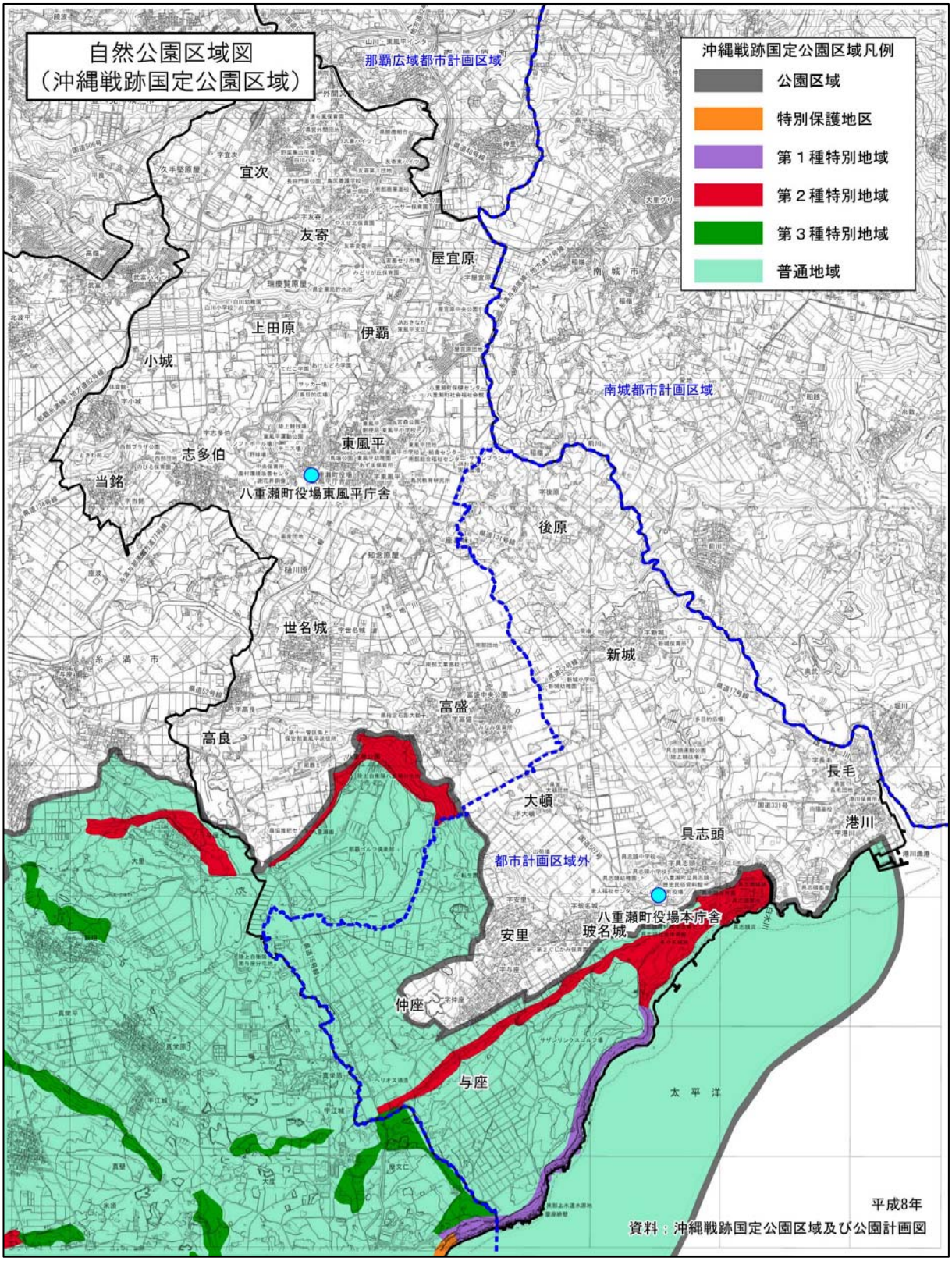

森林地域指定状況
那覇広域都市計画区域
南城都市計画区域
都市計画区域外
八重瀬町役場東風平庁舎
八重瀬町役場本庁舎
外間
宜次
友寄
屋宜原
上田原
伊覇
小城
志多伯
当銘
東風平
後原
世名城
新城
富盛
高良
大頓
具志頭
長毛
港川
安里
玻名城
仲座
与座
太平洋
凡例
民有林
保安林
平成17年


自然公園区域図
（沖縄戦跡国定公園区域）
沖縄戦跡国定公園区域凡例
公園区域
特別保護地区
第１種特別地域
第２種特別地域
第３種特別地域
普通地域
那覇広域都市計画区域
南城都市計画区域
都市計画区域外
八重瀬町役場東風平庁舎
八重瀬町役場本庁舎
宜次
友寄
屋宜原
上田原
伊覇
小城
志多伯
当銘
東風平
後原
世名城
糸満市
新城
富盛
高良
大頓
具志頭
長毛
港川
安里
玻名城
仲座
与座
太平洋
平成8年
資料：沖縄戦跡国定公園区域及び公園計画図

３．産業の状況

（１） 農業

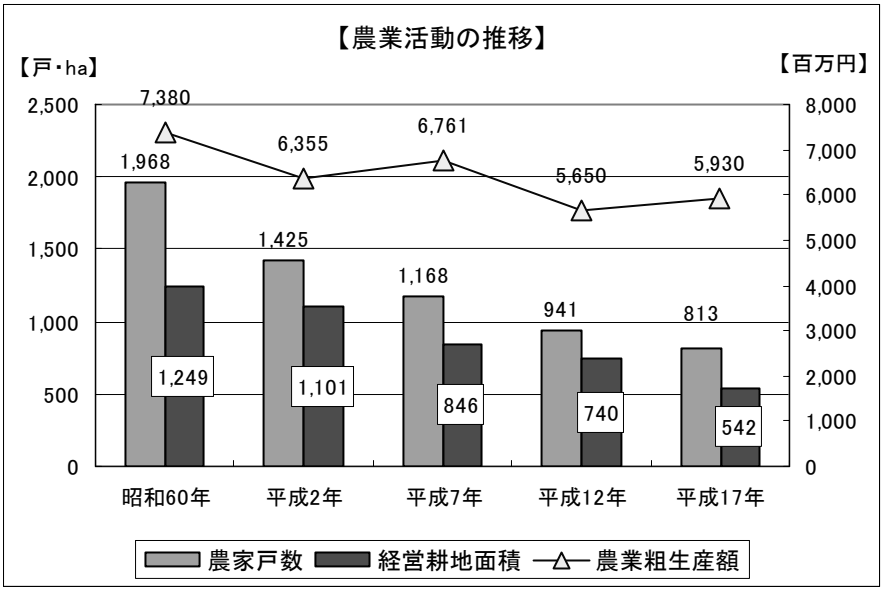
八重瀬町における農業活動の推移をみると、農家戸数・経営耕地面積ともに年々減少傾向にあり、農家戸数は昭和 60 年の 1,968 戸から平成 17 年には 813 戸に減少し、経営耕地面積は昭和 60 年の 1,249ha から平成 17 年には 542ha に減少している。

農業粗生産額も減少傾向となっており、昭和 60 年の 7,380 百万円から平成 17 年には 5,930 百万円に減少している。

■ 農業活動の推移　（単位：戸、ha、ha/戸、%、百万円）

八重瀬町	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
専　業　農　家	411	294	297	304	324
兼　業　農　家	1,557	1,131	871	637	489
第一種兼業農家	386	404	286	289	240
第二種兼業農家	1,171	727	585	348	249
合　　計	1,968	1,425	1,168	941	813
経営耕地面積	1,249	1,101	846	740	542
一戸当り経営耕地面積	0.6	0.8	0.7	0.8	0.7
農業粗生産額	7,380	6,355	6,761	5,650	5,930

※販売農家数のみ記載。　資料：農業関係統計
※専業農家は、全収入を農業収入のみの農家
※第一種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以上の農家
※第二種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以下の農家



（2） 漁業

八重瀬町における漁業経営体数の推移をみると、昭和 53 年（53 経営体）から平成 5 年（42 経営体）まで減少し、平成 10 年以降は横ばいとなっているが、平成 20 年（36 経営体）には減少している。

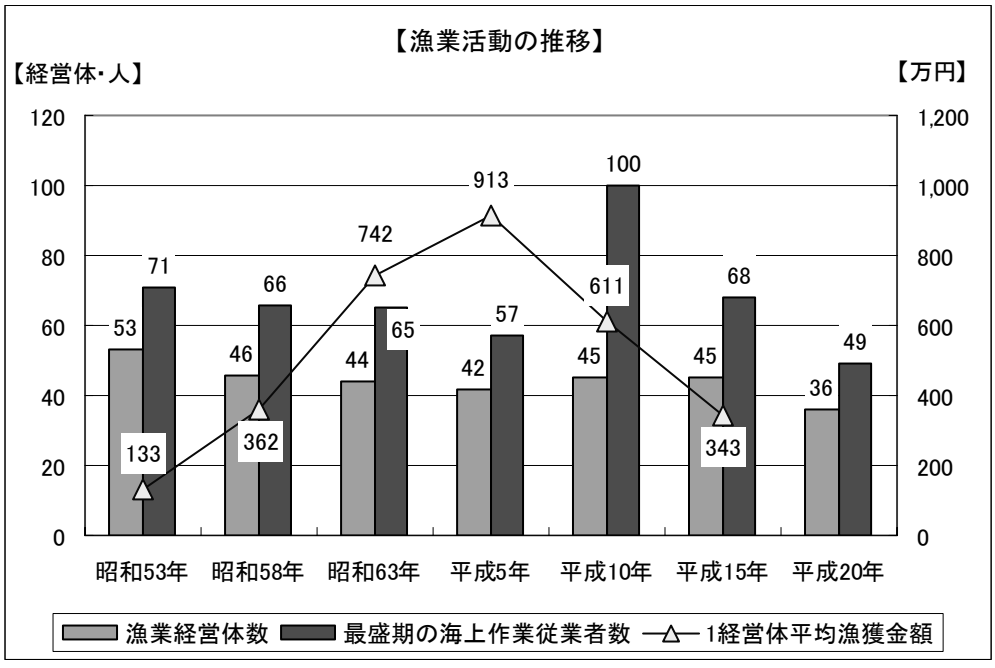
海上作業従業者数をみると、漁業経営体同様に昭和 53 年（71 人）から平成 5 年（57 人）まで減少し、平成 10 年（100 人）には増加しているが、平成 15 年以降は減少している。

■ 漁業経営体の基本構成及び自営漁業の専兼業別経営体数　　各年11月1日現在

					昭和53年	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年
総括	漁業経営体数			経営体	53	46	44	42	45	45	36
	漁船	無動力船隻数		隻	5	1	0	0	0	0	－
		船外機付隻数		隻	2	2	0	1	1	6	2
		動力船	隻数	隻	52	45	51	46	47	48	32
			トン数	t	82.5	79.95	90.35	94.06	127.9	125.47	106.5
			馬力数	馬力	633	888	1663	1920	2606	2390	
	最盛期の海上作業従業者数		総数	人	71	66	65	57	100	68	49
			家族	人	64	49	49	48	48	59	32
			雇用者	人	7	17	16	9	52	9	17
	1経営体平均漁獲金額			万円	133	362	742	913	611	343	
個人経営体	総数			経営体	53	46	43	41	41	43	34
	専業(自営漁業のみ)			経営体	10	9	13	23	17	13	31
	兼業	自営漁業が主		経営体	28	28	26	14	20	18	1
		自営漁業が従		経営体	15	9	4	4	4	12	2

※最盛期の海上作業従業者数とは、海面漁業を通じて最も多くの人が漁業の海上作業に従事した時期の人数をいう。　　資料：漁業センサス

※平成20年の「馬力数」「1経営体平均漁獲金額」については、統計資料において記載なし



（3） 商業

八重瀬町の商業活動の推移をみると、商店数は昭和 60 年から年々減少傾向を示している。

昭和 60 年から平成 19 年の推移をみると、平成 19 年には 196 店となり、昭和 60 年の 275 店から 79 店減少している。

従業者数は、増減を繰り返している。昭和 60 年から平成 19 年の推移をみると、平成 19 年には 700 人となり、昭和 60 年の 669 人から 31 人増加している。

販売額は、平成 14 年をピークに昭和 60 年から増加傾向となっているが、平成 3 年と平成 19 年には減少している。昭和 60 年から平成 19 年の推移をみると、平成 19 年には 10,539 百万円となり、昭和 60 年の 8,487 百万円から 2,052 百万円増加している。

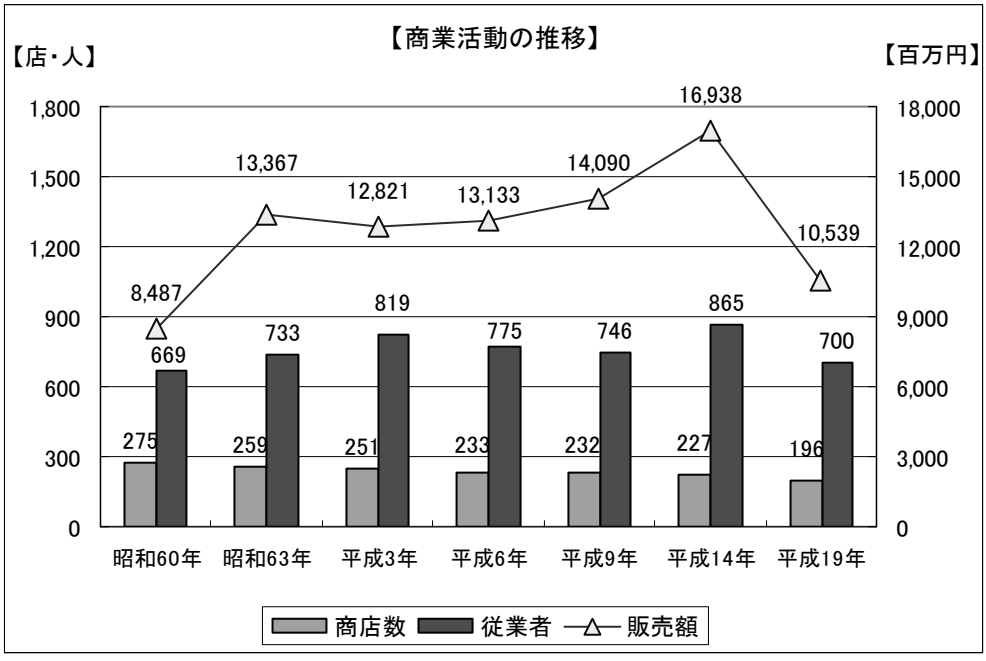
■ 商業活動の推移 （単位：店、人、百万円、%）

八重瀬町		昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成14年	平成19年
商店数	卸売業	13	16	14	11	15	20	17
	小売業	262	243	237	222	217	207	179
	計	275	259	251	233	232	227	196
従業者	卸売業	72	108	101	67	79	143	127
	小売業	597	625	718	708	474	722	573
	計	669	733	819	775	746	865	700
販売額	卸売業	3,062	7,693	5,444	6,621	6,833	10,829	3,812
	小売業	5,425	5,674	7,377	6,512	7,257	6,108	6,727
	計	8,487	13,367	12,821	13,133	14,090	16,938	10,539

※飲食店を除いた数値。 資料：沖縄県の商業、商業統計調査

※調査期日：S57年6月1日、S60年5月1日、S63年6月1日、H3年7月1日、H6年7月1日、H9年6月1日、H14年6月1日、H19年6月1日。本調査はH9年以降から5年毎に実施。ただし、年間商品販売額は、調査期日前1ヶ年間である。

※平成9年の従業者数は、旧具志頭村の従業者数の記載がないため東風平のみの数値となっている



（4） 工業

八重瀬町における工業活動の推移をみると、事業所数は平成 7 年から平成 17 年まで 33～42 事業所数のほぼ横ばいで推移していたが、平成 19 年には 26 事業所まで減少している。平成 19 年には 26 事業所となっており、平成 7 年の 33 事業所から 7 事業所減少している。

従業者数は、平成 7 年から平成 15 年まで増加し、平成 17 年からは増減を繰り返している。平成 19 年には 315 人となっており、平成 7 年の 216 人から 99 人増加している。

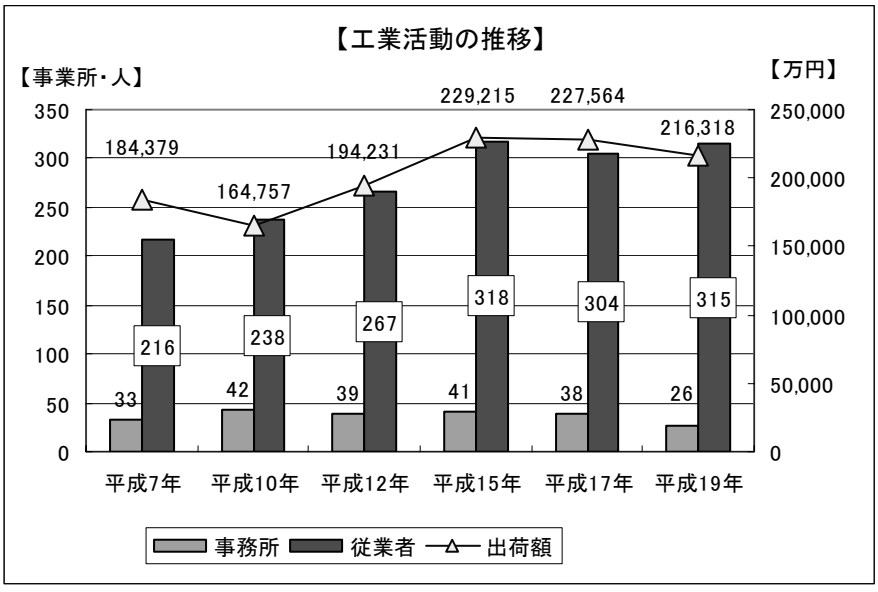
出荷額は、平成 10 年から平成 15 年にかけて増加傾向にあったが、平成 17 年からは減少傾向となっている。平成 19 年には、216,318 万円となっており、平成 7 年の 184,379 万円から 31,939 万円増加している。

■ 工業活動の推移　　（単位：事業所、人、万円）

八重瀬町	平成7年			平成10年			平成12年			平成15年			平成17年			平成19年		
	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額
食料品製造業	7	X	X	5	X	X	7	89	54,841	10	143	100,347	10	130	117,247	6	139	101,259
パイナップル缶詰	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
砂糖	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
飲料・たばこ・飼料	2	X	X	3	X	X	3	X	X	3	X	X	3	18	X	2	10	X
繊維（工業）	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	X	X	－	－	－	1	9	X
衣服・その他の繊維製品	1	X	X	1	X	X	1	X	X	2	X	X	2	10	X	1	5	X
木材・木製品（家具を除く	1	X	X	1	X	X	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
家具・装備品	3	23	20,913	3	X	X	3	22	16,889	2	X	X	2	19	X	2	19	X
パルプ・紙・紙加工品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
印刷・同関連産業（出版）	1	X	X	1	X	X	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	7	X
化学工業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	7	X	1	6	X
石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
プラスチック製品	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	13	X	1	14	X
ゴム製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
なめし革・同製品・毛皮	－	－	－	1	X	X	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
窯業・土石製品	3	X	X	3	11	2,726	3	X	X	4	X	X	4	32	X	4	40	38,664
鉄鋼業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	X	X	1	4	X	－	－	－
非鉄金属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
金属製品	12	47	36,707	17	81	55,205	16	84	57,537	13	76	61,166	9	54	44,232	5	43	35,581
一般機械器具	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	5	X	－	－	－
電気機械器具	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
情報通信機械器具										－	－	－	－	－	－	－	－	－
電子部品・デバイス										－	－	－	－	－	－	－	－	－
輸送用機械器具	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
精密機械器具	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の製造業	1	X	X	5	11	6,911	4	X	X	4	12	4,975	4	12	5,701	2	23	X
合　計	33	216	184,379	42	238	164,757	39	267	194,231	41	318	229,215	38	304	227,564	26	315	216,318

※秘匿の必要がある場合は［×］で表示。　　資料：沖縄県の工業

※平成14年3月の日本標準産業分類の改訂により、「出版業」は「情報通信業」に移行され、工業統計調査の対象外となった。
また、「電気機械器具」は「電気機械器具」、「情報通信機械器具」、「電子部品・デバイス」の3つに分割され、「武器製造業」は「その他の製造業」に統合された。



4．人口動向

（1） 人口・世帯数

住民基本台帳における八重瀬町の人口は、平成 22 年現在 27,318 人である。過去からの推移をみると、平成 2 年から平成 22 年の 20 年間に 5,825 人増加している。

世帯数は、平成 22 年現在 9,504 世帯である。過去からの推移をみると、平成 2 年から平成 17 年の 20 年間に 3,765 世帯増加している。

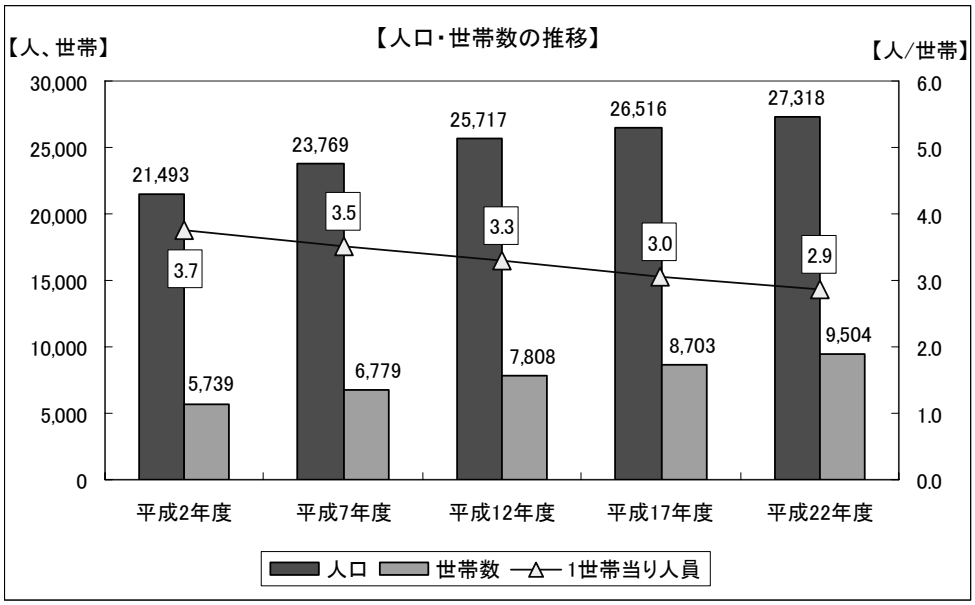
1 世帯当り人員は、平成 2 年の 3.7 人から年々減少し、平成 22 年には 2.9 人となっており、20 年間で 0.8 人の減少となっている。

■ 住民基本台帳における人口・世帯数の推移

	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度
人口	21,493	23,769	25,717	26,516	27,318
世帯数	5,739	6,779	7,808	8,703	9,504
1世帯当り人員	3.7	3.5	3.3	3.0	2.9
人口増加率	－	10.6%	8.2%	3.1%	3.0%
世帯増加率	－	18.1%	15.2%	11.5%	9.2%

※各年3月現在の人口、世帯数となっている。

※平成12年度までは、旧東風平町、旧具志頭村を合わせた数値



（2） 流出・流入人口

平成 17 年において八重瀬町に住む従業者数及び通学者数は 12,919 人で、このうち他市町村へ流出している人は 8,239 人おり、流出先の上位は、那覇市（3,042 人、23.5%）、糸満市（1,486 人、11.5%）、南風原町（829 人、6.4%）、豊見城市（811 人、6.3%）、浦添市（445 人、3.4%）となっている。

平成 17 年に八重瀬町における従業者数及び通学者数は 8,818 人で、このうち他市町村から流入している人は、4,138 人おり、流入元の上位は、糸満市（1,024 人、11.6%）、那覇市（739 人、8.4%）、南風原町（493 人、5.6%）、豊見城市（481 人、5.5%）、旧玉城村（317 人、3.6%）となっている。

■ 通勤・通学の流出状況 （単位：人、%）

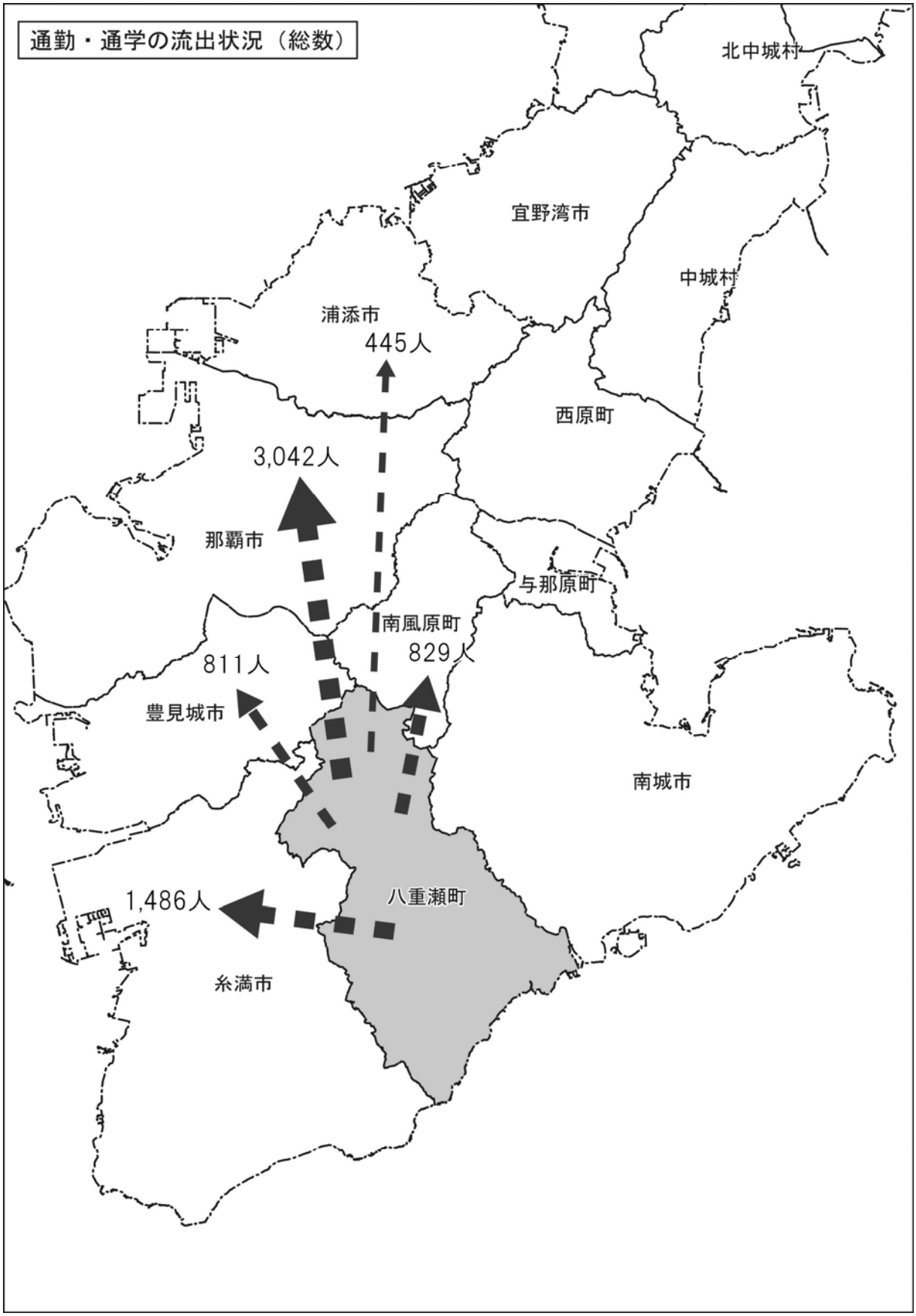
	総数		通勤		通学	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比
八重瀬町内に常住	12,919	100.0	11,173	100.0	1,746	100.0
八重瀬町内で従業・通学	4,680	36.2	4,034	36.1	646	37.0
八重瀬町外で従業・通学	8,239	63.8	7,139	63.9	1,100	63.0
第1位 那覇市	3,042	23.5	2,676	24.0	366	21.0
第2位 糸満市	1,486	11.5	1,222	10.9	264	15.1
第3位 南風原町	829	6.4	772	6.9	57	3.3
第4位 豊見城市	811	6.3	676	6.1	135	7.7
第5位 浦添市	445	3.4	408	3.7	37	2.1
その他	1,626	12.6	1,385	12.4	241	13.8

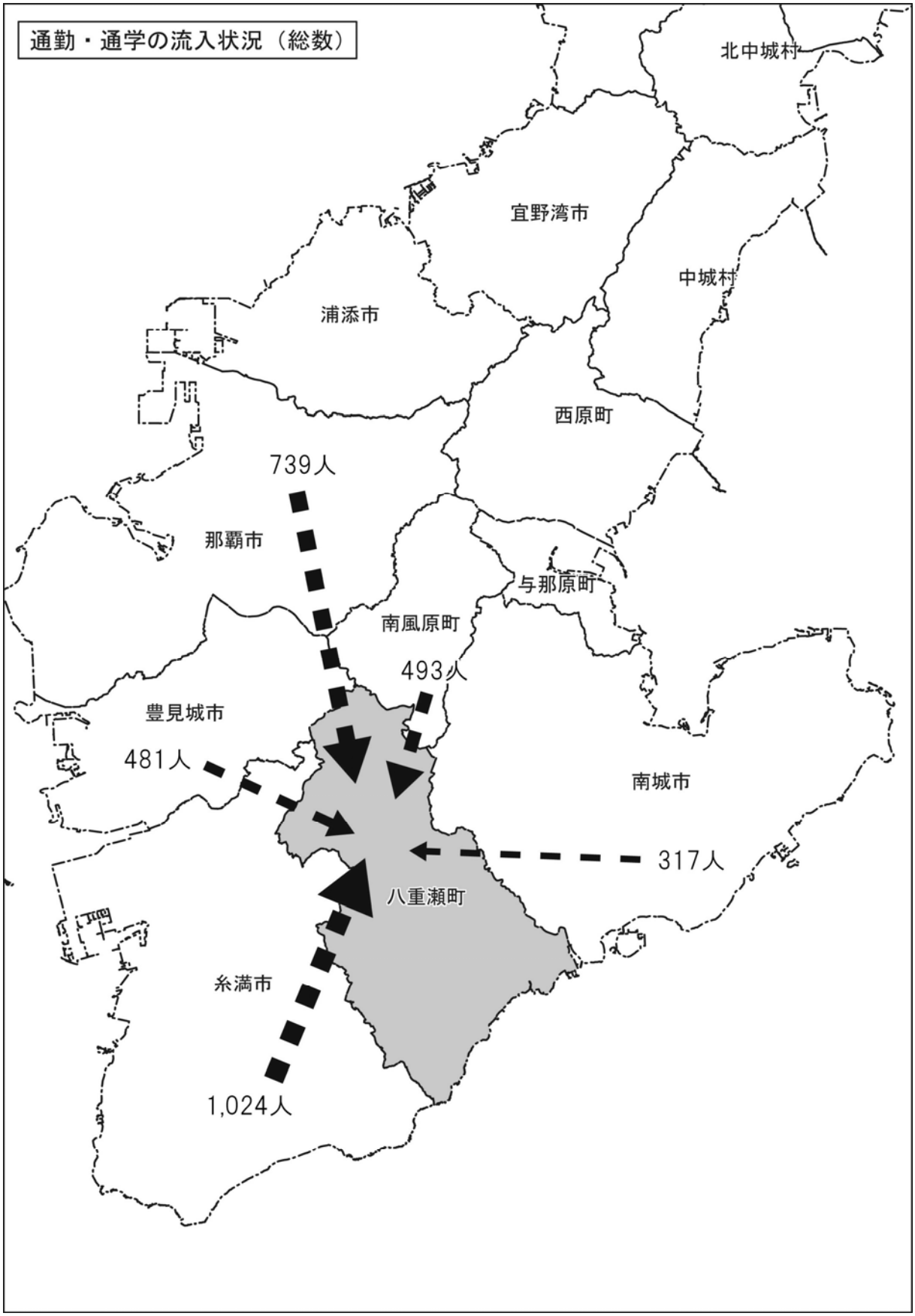
資料：平成17年 国勢調査

■ 通勤・通学の流入状況 （単位：人、%）

	総数		通勤		通学	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比
八重瀬町内で従業・通学	8,818	100.0	7,095	100.0	1,723	100.0
八重瀬町内に常住	4,680	53.1	4,034	56.9	646	37.5
八重瀬町外に常住	4,138	46.9	3,061	43.1	1,077	62.5
第1位 糸満市	1,024	11.6	673	9.5	351	20.4
第2位 那覇市	739	8.4	700	9.9	39	2.3
第3位 南風原町	493	5.6	354	5.0	139	8.1
第4位 豊見城市	481	5.5	391	5.5	90	5.2
第5位 旧玉城村	317	3.6	185	2.6	132	7.7
その他	1,084	12.3	758	10.7	326	18.9

資料：平成17年 国勢調査


通勤・通学の流出状況（総数）
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
445人
西原町
3,042人
那覇市
与那原町
南風原町
829人
811人
豊見城市
南城市
八重瀬町
1,486人
糸満市


通勤・通学の流入状況（総数）
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
西原町
739人
那覇市
与那原町
南風原町
493人
豊見城市
481人
南城市
317人
八重瀬町
糸満市
1,024人

（３） 買物動向

平成 19 年度の八重瀬町における買物動向は、各品目において以下のようになっている。

１） 買物出向率（八重瀬町から各市町村へ買物に出かける割合）

① 婦人服

婦人服においては、豊見城市（30.3%）への流出が最も多く、次いで南風原町（29.3%）、那覇市（20.6%）の順となっており、地元購買率は 2.9%となっている。

② 紳士服

紳士服においては、南風原町（35.6%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（26.8%）、那覇市（23.2%）の順となっており、地元購買率は 0.2%となっている。

③ 子供服

子供服においては、南風原町（35.6%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（28.7%）、那覇市（19.0%）の順となっており、地元購買率は 0.3%となっている。

④ 呉服・寝具

呉服・寝具においては、南風原町（37.5%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（25.8%）、那覇市（18.4%）の順となっており、地元購買率は 0.3%となっている。

⑤ シャツ・下着類

シャツ・下着類においては、南風原町（36.7%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（33.6%）、那覇市（15.1%）の順となっており、地元購買率は 0.2%となっている。

⑥ くつ・カバン

くつ・カバンにおいては、豊見城市（29.2%）への流出が最も多く、次いで南風原町（29.1%）、那覇市（23.1%）の順となっており、地元購買率は 0.2%となっている。

⑦ 時計・メガネ・貴金属

時計・メガネ・貴金属においては、南風原町（28.8%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（24.0%）、那覇市（23.6%）の順となっており、地元購買率は 0.9%となっている。

⑧ 家庭用電気器具

家庭用電気器具においては、豊見城市（40.7%）への流出が最も多く、次いで南風原町（22.0%）、糸満市（17.8%）の順となっており、地元購買率は 1.5%となっている。

⑨ 家具・室内装飾品

家具・室内装飾品においては、南風原町（32.2%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（23.0%）、那覇市（18.1%）の順となっており、地元購買率は 0.9%となっている。

⑩ スポーツ・レジャー用品

スポーツ・レジャー用品においては、南風原町（26.6%）への流出が最も多く、次いで那覇市（25.9%）、豊見城市（20.9%）の順となっており、地元購買率は 0.3%となっている。

⑪ 書籍・CD・文具

書籍・CD・文具においては、南風原町（30.9%）への流出が最も多く、次いで糸満市

（25.1%）、豊見城市（22.5%）の順となっており、地元購買率は 4.2%となっている。

⑫ 化粧品・衣料品

化粧品・衣料品においては、南風原町（39.6%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（19.1%）、那覇市（14.8%）の順となっており、地元購買率は 12.3%となっている。

⑬ 日用雑貨

日用雑貨においては、南風原町（27.3%）への流出が最も多く、次いで八重瀬町、豊見城市（共に 22.9%）、糸満市（14.9%）の順となっている。

⑭ 一般食料品

一般食料品においては、地元購買（八重瀬町 32.2%）が最も多く、次いで豊見城市（23.8%）、南風原町（22.8%）の順となっている。

⑮ 生鮮食品量（肉・魚・青果）

生鮮食品量（肉・魚・青果）においては、地元購買（八重瀬町 36.0%）が最も多く、次いで南風原町（18.9%）、豊見城市（18.1%）の順となっている。

⑯ 中元・歳暮等の贈答品

中元・歳暮等の贈答品においては、南風原町（26.6%）への流出が最も多く、次いで八重瀬町（21.3%）、豊見城市（19.9%）の順となっている。

⑰ 外食（食事）

外食（食事）においては、南風原町（37.2%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（23.3%）、那覇市（14.9%）の順となっており、地元購買率は 6.7%となっている。

⑱ 買回品総合

買回品総合においては、南風原町（33.8%）への流出が最も多く、次いで豊見城市（29.2%）、那覇市（19.9%）の順となっており、地元購買率は 0.8%となっている。

2） 買物吸引率（各市町村から八重瀬町へ買物に出かける割合）

買物吸引率は、概ね低い。

■買物出向率（八重瀬町から各市町村へ買物に出かけていく割合）

単位：%

	那覇市	うるま市	南城市	糸満市	沖縄市	豊見城市	北谷町	北中城村	中城村	西原町	八重瀬町	与那原町	南風原町
婦人服	20.6	0.9	1.6	10.7		30.3	1.4			2.1	2.9		29.3
紳士服	23.2	1.0	1.8	8.8		26.8	1.0			1.4	0.2		35.6
子供服	19.0	1.8	2.3	9.5		28.7	0.7			2.1	0.3		35.6
呉服・寝具	18.4	1.1	2.2	10.1		25.8	0.7			2.5	0.3	1.3	37.5
シャツ・下着類	15.1	1.1	2.4	9.8		33.6	0.7			0.5	0.2		36.7
くつ・カバン	23.1	1.0	4.4	9.9		29.2	1.2		0.2	0.5	0.2	1.2	29.1
時計・メガネ・貴金属	23.6	0.7	0.3	18.9	1.5	24.0	0.3			0.8	0.9	0.4	28.8
家庭用電気器具	14.7	0.2	2.4	17.8		40.7				0.7	1.5		22.0
家具・室内装飾品	18.1	1.5	0.3	8.7	3.2	23.0		2.6	3.5	1.0	0.9	5.0	32.2
スポーツ・レジャー用品	25.9	1.6	4.0	18.7	0.7	20.9				1.4	0.3		26.6
書籍・CD・文具	16.0	0.3	0.3	25.1		22.5				0.8	4.2		30.9
化粧品・衣料品	14.8	0.3	1.8	11.2		19.1				0.5	12.3	0.3	39.6
日用雑貨	7.9	0.2	2.7	14.9		22.9			0.6	0.5	22.9		27.3
一般食料品	5.7	0.2	3.0	11.8		23.8				0.5	32.2		22.8
生鮮食品量（肉・魚・青果）	4.1	0.2	5.1	17.1		18.1				0.5	36.0		18.9
中元・歳暮等の贈答品	13.7	0.2	4.4	9.8		19.9				2.8	21.3	1.2	26.6
外食（食事）	14.9	0.3	3.7	10.6	2.0	23.3	0.7			0.4	6.7	0.3	37.2
買回品総合	19.9	1.1	2.4	9.8		29.2	1.0			1.5	0.8	0.4	33.8

■買物吸引率（各市町村から八重瀬町に買物に出かけていく割合）

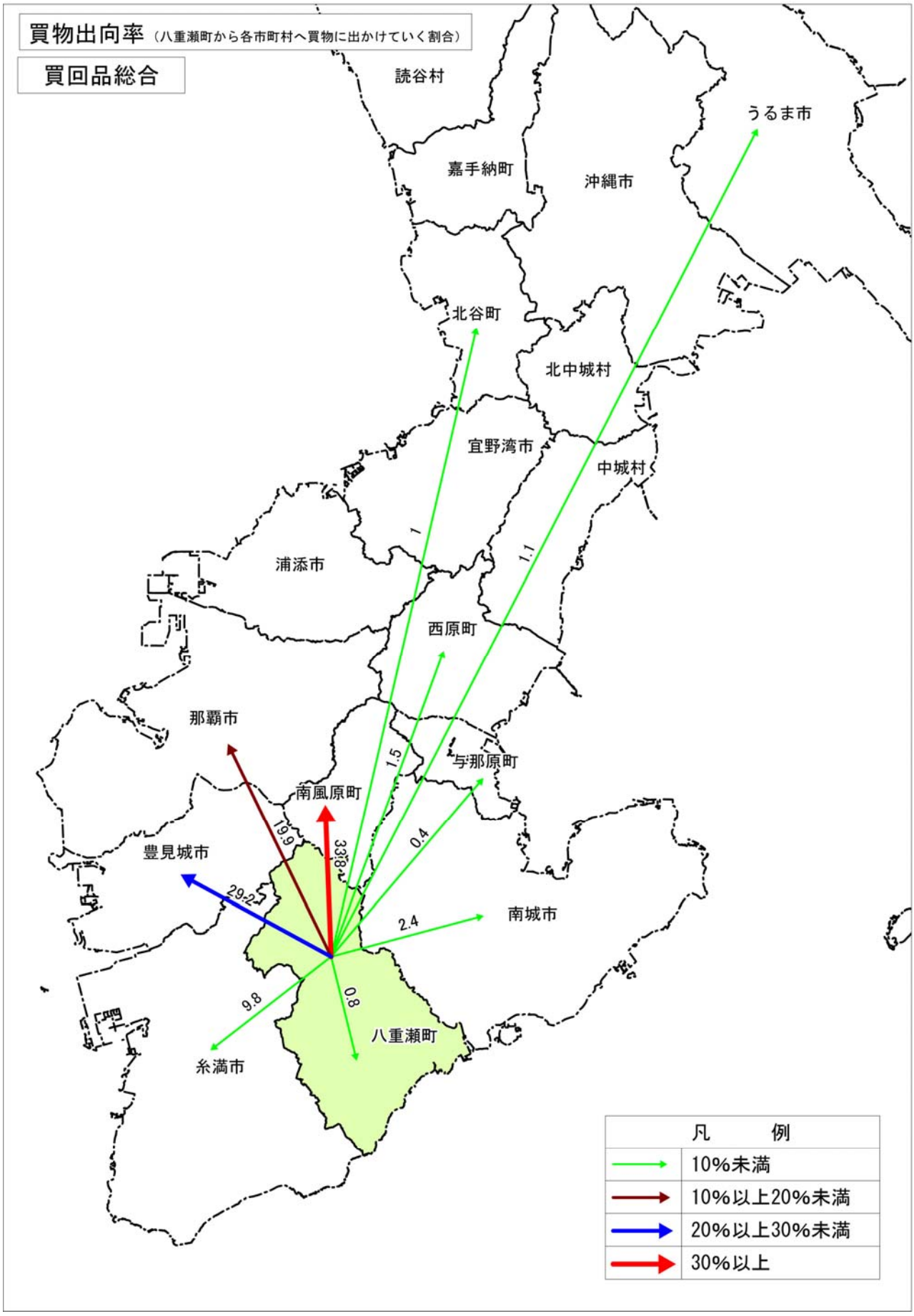
単位：%

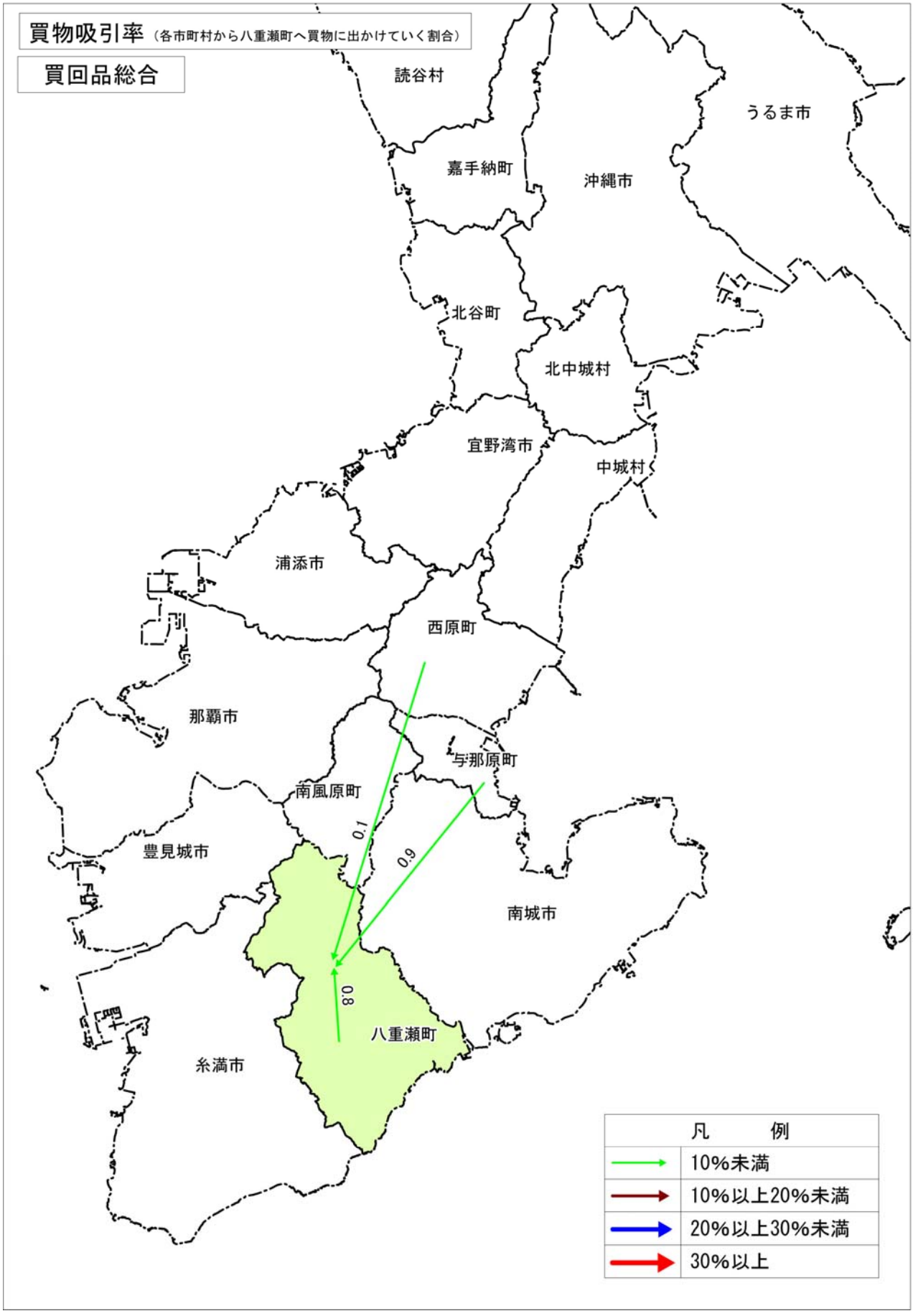
	那覇市	うるま市	宜野湾市	南城市	浦添市	糸満市	豊見城市	本部町	中城村	西原町	八重瀬町	与那原町	南風原町
婦人服										0.2	2.9	0.9	
紳士服										0.3	0.2	1.1	
子供服											0.3	1.2	
呉服・寝具											0.3	1.0	
シャツ・下着類											0.2	1.0	
くつ・カバン											0.2	0.3	
時計・メガネ・貴金属											0.9	0.3	
家庭用電気器具										0.4	1.5	0.3	
家具・室内装飾品											0.9	0.3	
スポーツ・レジャー用品											0.3	0.4	0.3
書籍・CD・文具					0.2						4.2	0.3	
化粧品・衣料品				0.8				2.9			12.3	0.8	0.3
日用雑貨				0.2	0.1						22.9	0.3	
一般食料品				0.9	0.1	0.6			0.3		32.2	0.3	
生鮮食品量（肉・魚・青果）			0.1	1.2	0.1	1.5	0.5		0.3		36.0	0.5	0.6
中元・歳暮等の贈答品				0.6							21.3	0.3	
外食（食事）				0.1	0.2	0.2				0.2	6.7	0.3	0.2
買回品総合										0.1	0.8	0.9	

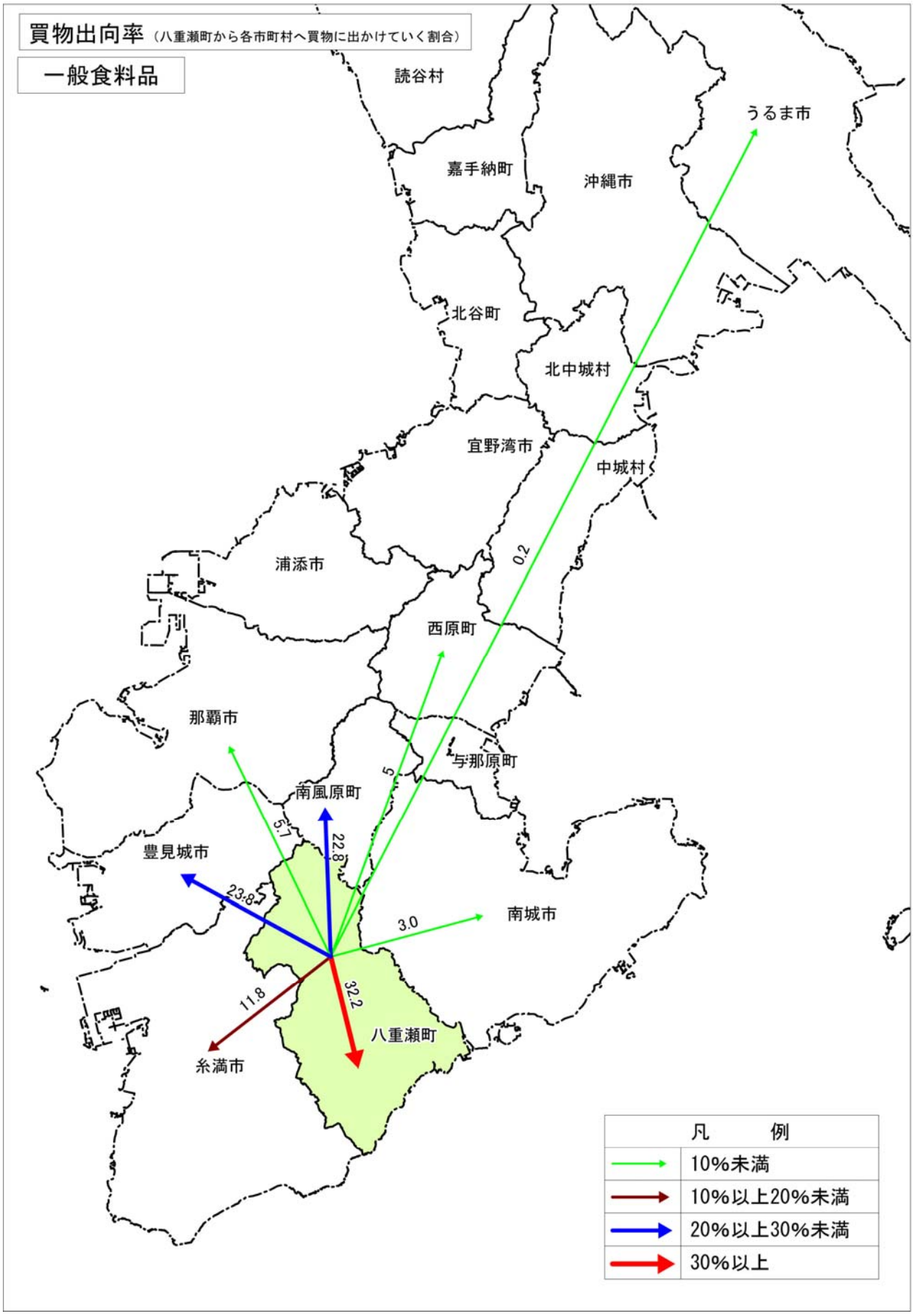
資料：平成19年度　沖縄県買物動向調査報告書　沖縄県観光商工部経営金融課

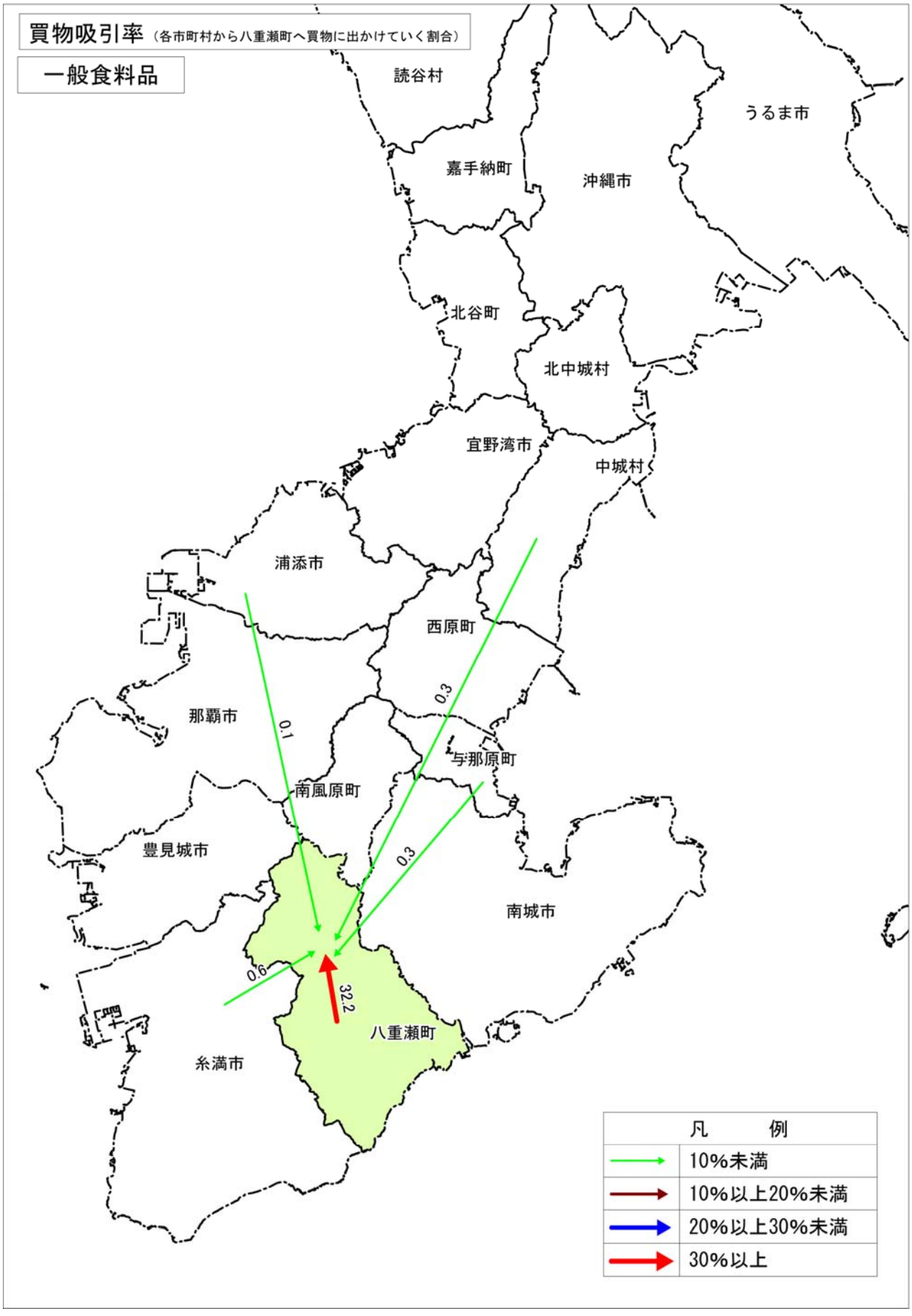
※網掛けは地元購買率、買物出向率についての赤文字は最高値

※買回品総合とは、調査対象17品目のうち、「婦人服」・「紳士服」・「子供服」・「呉服・寝具」・「シャツ・下着類」・「くつ・カバン」の6品目の単純平均であり、それが一概に当該市町村の地元購買率や吸引率等を正確に表すものとは限らない。


買物出向率（八重瀬町から各市町村へ買物に出かけていく割合）
買回品総合
読谷村
うるま市
嘉手納町
沖縄市
北谷町
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
西原町
那覇市
与那原町
南風原町
豊見城市
南城市
八重瀬町
糸満市
1
1.1
1.5
0.4
2.4
0.8
9.8
29.2
33.8
19.9
凡　例
10%未満
10%以上20%未満
20%以上30%未満
30%以上


買物吸引率（各市町村から八重瀬町へ買物に出かけていく割合）
買回品総合
読谷村
うるま市
嘉手納町
沖縄市
北谷町
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
西原町
那覇市
与那原町
南風原町
豊見城市
南城市
八重瀬町
糸満市
0.1
0.9
0.8
凡　例
10%未満
10%以上20%未満
20%以上30%未満
30%以上


買物出向率（八重瀬町から各市町村へ買物に出かけていく割合）
一般食料品
読谷村
うるま市
嘉手納町
沖縄市
北谷町
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
西原町
那覇市
与那原町
南風原町
豊見城市
南城市
糸満市
八重瀬町
0.2
5
5.7
22.8
23.8
3.0
11.8
32.2
凡　例
10%未満
10%以上20%未満
20%以上30%未満
30%以上


買物吸引率（各市町村から八重瀬町へ買物に出かけていく割合）
一般食料品
読谷村
うるま市
嘉手納町
沖縄市
北谷町
北中城村
宜野湾市
中城村
浦添市
西原町
那覇市
与那原町
南風原町
豊見城市
南城市
八重瀬町
糸満市
0.1
0.3
0.3
0.6
32.2
凡　例
10%未満
10%以上20%未満
20%以上30%未満
30%以上

（4） 産業別人口

平成 17 年における八重瀬町の産業別人口は、第３次産業（7,840 人、68.5%）が最も多く、次いで第２次産業（2,114 人、18.5%）、第１次産業（1,483 人、13.0%）の順となっている。

第１次産業をみると、昭和 60 年から平成 17 年にかけて減少傾向となっているが、平成 12 年から平成 17 年は増加している。

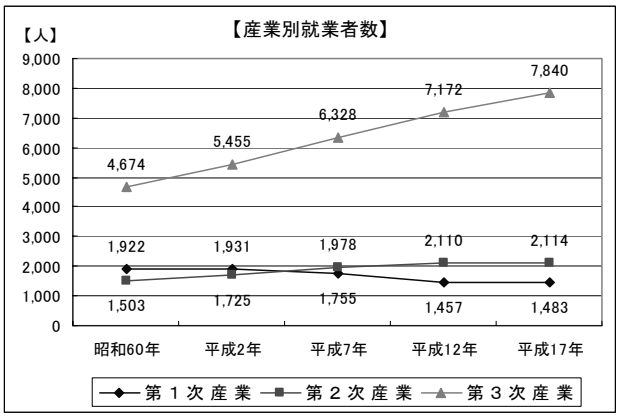
第２次産業をみると、昭和 60 年から年々増加傾向となっているが、鉱業については、年々減少傾向となっている。

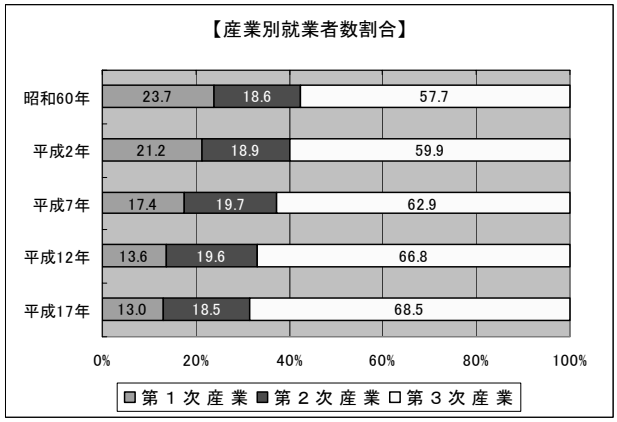
第３次産業をみると、昭和 60 年から年々増加傾向となっており、昭和 60 年と平成 17 年を比較すると、20 年間で 3,166 人増加している。

■ 産業別就業者数の推移　（単位：人、%）

八重瀬町	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
農　業	1,874	23.3	1,880	20.7	1,699	17.0	1,402	13.1	1,445	12.6
林　業	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
水 産 業	48	0.6	49	0.5	56	0.6	55	0.5	38	0.3
第 1 次 産 業	1,922	23.9	1,931	21.3	1,755	17.6	1,457	13.6	1,483	13.0
鉱　業	30	0.4	18	0.2	15	0.2	16	0.1	11	0.1
建 設 業	941	11.7	1,090	12.0	1,330	13.3	1,406	13.2	1,394	12.2
製 造 業	532	6.6	617	6.8	633	6.3	688	6.4	709	6.2
第 2 次 産 業	1,503	18.7	1,725	19.0	1,978	19.8	2,110	19.8	2,114	18.5
電気・ガス・熱供給・水道業	44	0.5	47	0.5	66	0.7	62	0.6	66	0.6
運輸・通信業	669	8.3	714	7.9	753	7.5	791	7.4	－	－
情報通信	－	－	－	－	－	－	－	－	187	1.6
運輸業	－	－	－	－	－	－	－	－	664	5.8
卸売・小売業、飲食店	1,466	18.2	1,638	18.1	1,839	18.4	2,100	19.7	－	－
卸売・小売業	－	－	－	－	－	－	－	－	1,883	16.5
金融・保険	155	1.9	171	1.9	196	2.0	201	1.9	215	1.9
不動産業	30	0.4	55	0.6	69	0.7	63	0.6	63	0.6
サービス業	1,761	21.9	2,244	24.8	2,734	27.4	3,217	30.1	－	－
サービス業（他に分類されないもの）	－	－	－	－	－	－	－	－	1,452	12.7
飲食店・宿泊業	－	－	－	－	－	－	－	－	522	4.6
医療・福祉	－	－	－	－	－	－	－	－	1,403	12.3
教育・学習支援業	－	－	－	－	－	－	－	－	477	4.2
複合サービス事業	－	－	－	－	－	－	－	－	163	1.4
公　務	549	6.8	586	6.5	671	6.7	738	6.9	745	6.5
第 3 次 産 業	4,630	57.5	5,408	59.7	6,262	62.7	7,110	66.6	7,840	68.5
総　数	8,055	100.0	9,064	100.0	9,995	100.0	10,677	100.0	11,437	100.0
分類不能の産業	75	―	8	―	7	―	12	―	40	―

※総数に分類不能の産業は含まない。　資料：国勢調査
※平成17年から「運輸・通信業」が「通信情報」「運輸業」に分類されている。
※平成17年から「卸売・小売業、飲食店」が「卸売・小売業」に変更されている。
※平成17年から「サービス業」が「サービス業（他に分類されないもの）」「飲食店・宿泊業」「医療・福祉」「教育・学習支援」「複合サービス事業」に分類されている。





5．交通量

八重瀬町における道路網は、国道 331 号、国道 507 号、県道 82 号那覇糸満線、県道 15 号線、県道 17 号線、県道 52 号線、県道 131 号線、県道 134 号線が幹線道路として形成されている。

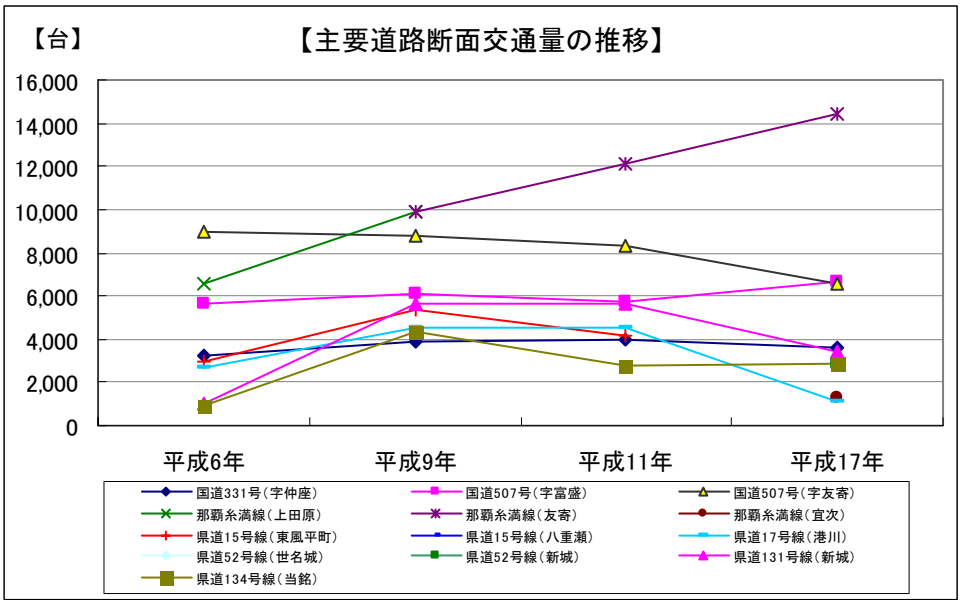
平成 17 年において混雑度が最も高いのは国道 507 号の友寄地点（混雑度：0.95）となっており、次いで県道 82 号那覇糸満線の友寄地点（混雑度：0.90）、国道 507 号の富盛地点（混雑度：0.76）となっている。

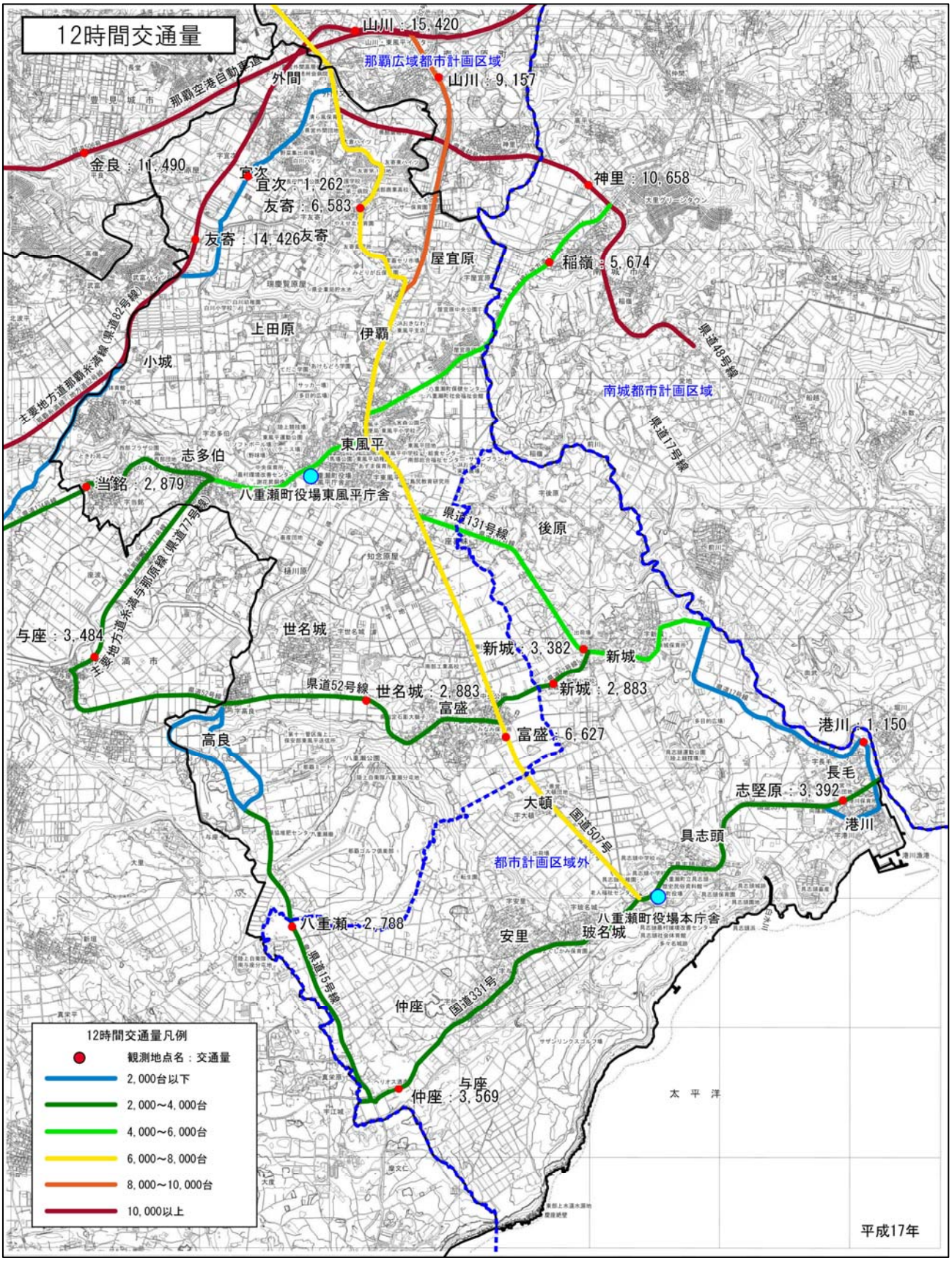
主要道路における交通量の推移をみると、国道 331 号の仲座地点は概ね減少傾向、国道 507 号の富盛地点は概ね増加傾向、友寄地点は減少傾向、主要地方道那覇糸満線（県道 82 号）の上田原地点（平成 9 年まで）、友寄地点は増加傾向、県道 15 号線は減少傾向、県道 17 号線の港川地点は減少傾向、県道 131 号線の新城地点は減少傾向、県道 134 号線の当銘地点での交通量は、増減を繰り返している。

■ 主要道路断面交通量の推移

路線名	観測地点名	12時間交通量(台)				混雑度			
		平成6年	平成9年	平成11年	平成17年	平成6年	平成9年	平成11年	平成17年
国道331号	仲座	3,238	3,892	3,938	3,569	0.39	0.47	0.55	0.44
国道507号	富盛	5,643	6,134	5,775	6,627	0.66	0.67	0.75	0.76
	友寄	8,988	8,790	8,334	6,583	1.49	1.30	1.24	0.95
主要地方道那覇糸満線（県道82号）	上田原	6,606	9,895	－	－	0.80	1.22	－	－
	友寄	－	－	12,083	14,426	－	－	1.32	0.90
	宜次	－	－	－	1,262	－	－	－	0.19
県道15号線	東風平町	2,974	5,365	4,120	－	0.44	0.55	0.51	－
	八重瀬				2,788	－	－	－	0.35
県道17号線	港川	2,662	4,519	4,562	1,150	0.33	1.03	1.01	0.15
県道52号線	世名城	－	－	－	2,883	－	－	－	0.47
	新城	－	－	－	2,883	－	－	－	0.42
県道131号線	新城	985	5,651	5,611	3,382	0.37	0.65	0.54	0.40
県道134号線	当銘	926	4,328	2,778	2,879	0.34	0.59	0.46	0.37

資料：道路交通センサス




12時間交通量
山川：15,420
那覇広域都市計画区域
山川：9,157
外間
那覇空港自動車道
金良：11,490
宜次
宜次：1,262
友寄：6,583
友寄：14,426
友寄
神里：10,658
屋宜原
稲嶺：5,674
県道48号線
上田原
伊覇
小城
主要地方道那覇糸満線（県道82号線）
南城都市計画区域
県道17号線
志多伯
東風平
当銘：2,879
八重瀬町役場東風平庁舎
県道131号線
後原
主要地方道糸満与那原線（県道77号線）
与座：3,484
世名城
新城：3,382
新城
県道52号線
世名城：2,883
新城：2,883
富盛
富盛：6,627
港川：1,150
高良
長毛
志堅原：3,392
大頓
国道507号
港川
具志頭
都市計画区域外
八重瀬町役場本庁舎
玻名城
八重瀬：2,788
安里
県道15号線
仲座
国道331号
与座
仲座：3,569
太平洋
12時間交通量凡例
観測地点名：交通量
2,000台以下
2,000～4,000台
4,000～6,000台
6,000～8,000台
8,000～10,000台
10,000以上
平成17年

資料：「道路交通センサス」